

**「日本 タイ ティーンエイジアンバサダー(高校生交流)事業」を実施  
両国の高校生60名がタイで再会、交流します**



公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、1月21日(月)から、タイの高校生と日本の高校生60名が、8日間の交流活動を通して親交を深める「日本 タイ ティーンエイジアンバサダー(高校生交流)事業」を実施します。

当財団は、柱となる3事業\*のひとつに「諸外国との友好親善の促進」を掲げ、1990年より、アジアを中心とした国々と日本の高校生が互いの国を訪問し、交流する「ティーンエイジアンバサダー」事業を行っています。タイでの交流は、1993年、2004年以来3度目となります。今回を含め、当事業の参加国は18カ国、参加者は累計2,610名にのぼります。

今回の交流では、昨年11月に日本で交流した北海道室蘭市、愛知県名古屋市・津島市の3市の高校生30名と、タイの高校生30名がバンコクで再会、交流します。

日本の高校生は“ティーンエイジアンバサダー(小さな大使)”として、タイ教育省を表敬訪問します。さらに、在タイ王国日本大使や、タイ政府の方々のご臨席のもと行われる歓迎会では、両国の高校生が伝統舞踊等のパフォーマンスや決意表明のスピーチを行います。

また、タイで最も歴史ある大学のチュラロンコーン大学で、洪水対策についてレクチャーを受けるとともに、多様な価値観に触れる機会として、同大学で学ぶ各国の留学生との交流会に参加します。その後、バンコク市内の3つの高校に分かれ、授業体験やホームステイを通じて同国の歴史や文化について学び、理解を深めます。

当財団はこれからも、アジア各国の未来を担う若者に相互理解を深める機会を提供し、両国の友好親善の促進に資する活動を続けてまいります。

**【2018年11月にタイの高校生が来日した際の交流の様子】**



津島高校での現代文の授業を体験



ホームステイにてたこ焼きに挑戦

※ 3事業：「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」

## 【プログラム概要】

1. 期 間：1月21日（月）～1月28日（月）
2. 実施地域：タイ（バンコク、アユタヤ）
3. 参加者：日本  
①海星学院高等学校  
②愛知県立津島高等学校  
③名古屋大学教育大学教育学部附属 の学生計30名  
  
タイ  
①ドンムアン タハン アークット バムルン高校  
②シー アユタヤ高校  
③ワット プッタプチャー高校 の学生計30名
4. 主な行動予定：  
1月21日（月） 日本高校生がタイに到着  
オリエンテーション  
1月22日（火） 教育省への表敬訪問  
JETROにてレクチャー  
歓迎会  
1月23日（水） 防災関連施設視察  
アユタヤ遺跡訪問  
1月24日（木） チュラロンコーン大学にてレクチャー、及び交流会  
1月25日（金） 各高校に分かれて授業体験  
ホームステイ（2泊3日）  
1月26日（土） ホームステイ  
1月27日（日） ホームステイ、フェアウェルパーティー  
1月28日（月） 日本の高校生が帰国

### ご参考

#### 【公益財団法人イオンワンパーセントクラブについて】

当財団は1989年、イオンの前身であるジャスコの誕生20周年を機に、「絶えず革新し続ける企業集団」として、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立されました。企業の業績にかかわらず継続的に活動するため、グループの主要企業が 税引前利益の1%を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」の3つを柱となる事業として、社会貢献活動を行っています。

※活動の詳細な内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。

公式アカウント

イオン1%クラブの活動をリアルタイムで紹介。



↑上のQRコードから友達追加



Q 1\_percent\_club で検索



Q 「AEON 1%」で検索

## 【タイにおける社会貢献活動】

### ■アジアユースリーダーズ



タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシア、日本、中国の6か国の次代を担う学生が一堂に会し、英語を共通言語として開催地の社会問題をテーマにディスカッションを行い、改善策を提案します。また、約1週間のプログラムを通して、国際感覚を身につけるとともに、価値観の多様性についての理解を深めます。

### ■イオンスカラシップ事業（アセアン）

日本で学ぶアジアの私費留学生を対象とした給付型奨学金制度。各国の奨学生を対象に、定期的なセミナーの開催など、学生たちの未来へ向けた更なる成長を支援しています。将来、日本と各地域の国々をつなぐ架け橋となって活躍してほしいとの願いのもと、2006年より継続しています。また、アセアンでは、インドネシア、カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマーの5カ国で学ぶ優秀な大学生を対象に、各国での奨学金給付のほか、年間を通じた経済的支援を行っています。タイでは、2010年より奨学金の給付を開始しています。



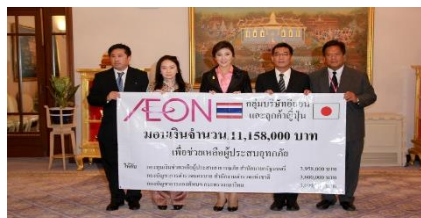
### ■ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業



日本と海外の高校生が、政府訪問などの「大使活動」、授業体験やホームステイなどの「交流活動」、文化遺産への訪問や、伝統文化を体験する「歴史・文化活動」を通じて、互いの国の歴史や文化を理解し、友好親善が深まることを目的に、1990年より行っています。当財団設立20周年を記念し、2009年には、同窓会を開催し、社会人となって世界各国で活躍する仲間たちが一堂に会し、再会しました。

### ■緊急災害復興支援

大規模災害により被災した方々が、日常の生活を一日でも早く取り戻せるよう、復旧・復興を支援しています。2011年に発生したタイ洪水被害では、募金活動のほか、災害復興支援金の贈呈を行いました。



### ■植樹活動



公益財団法人イオン環境財団が、1990年の設立以来、ボランティアの皆さまとともに、世界各地で植樹を行っています。

タイでは、1995年から2007年の間に地元住民の方々とともに行った植樹は、総計14万500本にのぼります。